

歩掛参考見積「鹿山トンネル空洞等調査業務（仮称）」の質問に対する回答

| 質 問 事 項 | 回 答 |
|---|---|
| <p>1. 本調査は、断水を行わない通水条件でドローンによる調査を行う理解で良いでしょうか。</p> | <p>1. 減量取水を行う予定ですが、上水取水に必要なチェックゲートによる水位確保を前提としています。</p> |
| <p>2. 「4-3(1)ひび割れ等調査」について、レーザースキャニング“等”との記載ですが、レーザースキャニング以外の手法も認められるとの理解で良いでしょうか。</p> | <p>2. 歩掛見積の徴取内容は、レーザースキャニングの手法になります。</p> |
| <p>3. 「4-3(1)ひび割れ等調査」および「4-4(1)トンネル内壁連続画像の展開図作成」について、調査範囲および展開図作成範囲は水面より上の気中部を対象との理解で良いでしょうか。</p> | <p>3. そのとおりです。</p> |
| <p>4. 「4-3(3)背面空洞等調査の検証」は、削孔を伴うため作業員が坑内に入り作業を行う必要があります。 ドローン調査とは別途、断水を行って実施する理解で良いでしょうか。</p> | <p>4. 断水ではなく減量取水を行う予定ですが、上水取水に必要なチェックゲートによる水位確保を前提としています。調査を実施する箇所の水深は0.7m以下を目安に、安全を確保した上で実施することを想定しています。</p> |